

リベラルアーツ&サイエンス教育ブログも新規開設！

～個性豊かなゼミの取り組みを教員らが発信～

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）では、2007年より高校生や一般の方に向けた「ゼミブログ」を公開しています。教員らが執筆し、実際の授業での取り組みを発信することで、高校生・受験生に入学後のイメージを伝えています。2024年度には『リベラルアーツ&サイエンス教育ブログ』を新規開設。生物学からゴルフの実習まで多岐にわたるリベラルアーツ&サイエンスの学びを紹介しています。

「ゼミブログ」の特長

■ 学部・学科ごとの授業・ゼミの特長がわかる！興味が沸く！

▶リベラルアーツ&サイエンス教育 [「総合科目「サイエンスラボ講座\(生物学\)」授業紹介 ～PCR実験～」](#)

サイエンスラボ講座(生物学)の授業では、2型アルデヒド脱水素酵素(ALDH2)の遺伝子に変異があるかをPCRで解析します。ALDH2はアルコール分解に重要な酵素です。実験を通して自分の体質を知ることができます。

▶経済学部 [「スタバで体験！インクルージョン×経営」](#)

学生たちがやってきたのは、スターバックスコーヒー-nonowa 国立店。手話が共通言語となっている国内唯一のサインングストアです。実際に指差しや手話で注文することで、さまざまな気付きを得ます。



▶人文学部 [「ローカルヒーロー歴史講座」](#)

日本・東アジア文化学科の石井龍太教授の専門は、琉球諸島の考古学とローカルヒーロー。宮古島にて、学生たちと昼は考古学調査、夜は地元の子供たちにむけて、ヒーローショーを開催！活発なゼミ活動の様子をお伝えします。

▶社会学部 [「ファクトチェックに挑戦」](#)

ネット上の情報の正確性、妥当性を検証し、誤情報を見抜くファクト・チェックに取り組みます。発言が切り取られて別の発言のように使われている動画を、オリジナルを見つけ出して比較するなど、人が騙されてしまう理由を検証します。

▶国際教養学部 [「貿易自由化交渉ゲーム」](#)

貿易の自由化について、学生たちが関連省庁（経済産業省や農林水産省、外務省）の職員をロールプレイ。利害の対立を超えてどのように合意を形成するか、知恵を絞ります。

■ 学部を越えて協働する「学部横断ゼミ」がわかる！

学部横断ゼミは4学部の学生がそれぞれの専門性をもとに、企業が直面している課題を協働して探究し、企業担当者に報告・発表する産学連携型の授業です。学部横断ゼミブログでは、担当職員が最終報告会に向けて奮闘する学生たちの様子を伝えています。

▶学部横断ゼミ [「チームの在り方を見直す」](#)

最終報告会を前に、模擬発表を重ねる学生たち。「なぜそのような考えに至ったのか」「軸の定義が分かりづらい」といった厳しい意見から、「私たちのチームでは考えつかない提案だった」といった賞賛の感想まで、やり取りを経て成長していく学生の姿を追います。

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報室 担当:増田・五月女(ますだ・そうとめ)

TEL:03-5984-3813 E-mail:pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

